

【問い合わせ先】

釧路海上保安部交通課

次長 浦辻 信二

電話：0154-21-5575



令和7年1月9日

釧路海上保安部

令和6年における海難の発生状況について（速報値）

～船舶海難・人身海難とも増加～

令和6年の釧路海上保安部管内^{*1}における船舶海難及び人身海難の発生状況について、速報値をとりまとめましたのでお知らせします。

令和6年の船舶海難の総数は4隻、人身海難の総数は21人でした。

前年に比べ、船舶海難は3隻増加し、人身海難は2人増加しました。

1. 船舶海難^{*2}の発生状況 【別紙1、2参照】

昨年の船舶海難の総数は4隻で、前年に比べ3隻増加となりました。

なお、内訳は次のとおりであり、船舶海難による死者・行方不明者の発生はありませんでした。

(1) 船舶種類別の内訳は、

漁船 3隻（前年に比べ3隻増）

遊漁船 1隻（前年に比べ1隻増）

となりました。

(2) 海難種類別の内訳は、

運航不能 2隻（前年に比べ2隻増）

火災 1隻（前年に比べ1隻増）

浸水 1隻（前年に比べ1隻増）

となりました。

(3) 海難の原因は、

見張り不十分（運航の過誤）、整備不良（機関取扱）、漏電（火気・可燃物）、異常気象（不可抗力）となります。

過去5年における海難原因の半数は人的要因となっております。

*1 釧路海上保安部管内の速報値には、広尾海上保安署管内にて発生した海難は含まれません。

*2 海上における船舶の衝突、転覆、乗揚、浸水、爆発、火災、行方不明、機関・推進器・舵等の損傷又は故障、その他運航不能等が該当します。

2. 人身海難の発生状況 【別紙3参照】

海上での人身海難の総数は21人で、前年に比べ2人増加となりました。

(1) 船舶海難によらない乗船者の人身海難^{*3}は、6人（前年に比べ2人減）となりました。

海難の内訳は、

病気	1人 [漁船員0人]	(前年に比べ3人減)
負傷	3人 [漁船員1人]	(前年に比べ増減なし)
海中転落	2人 [漁船員0人]	(前年に比べ1人増)

となっております。

船舶海難によらない乗船者の人身海難者数は令和5年に増加となりましたが、令和6年は病気による海難が減少し、総数は過去5年間と同数程度の値となりました。

(2) 海浜事故^{*4}は15人（前年比4人増）となっており、その内訳は次のとおりです。

- ① マリンレジャーによる事故者数は1人（前年に比べ増減なし）
うち死者数は0人（前年に比べ1人減）
- ② マリンレジャー以外の事故者数は14人（前年に比べ4人増）
うち死者数は8人（前年に比べ1人増）
内訳) 自殺8人 (死者4人) (前年に比べ増減なし (死者2人減))
海中転落6人 (死者4人) (前年に比べ4人増 (死者3人増))

3 海難防止への取り組み

昨年は、関係機関と連携した海難防止啓発活動、海難防止講習会、船舶への訪船等を積極的に実施しました。また、新たに若年層への海難防止啓発活動に力を入れ、関係機関と協力し、学校訪問やプールを使った講習等、より実践的な安全講習を実施しました。

これは、短期的な海難の減少へとは繋がらないものの、長期的に効果のある活動として今後も継続していきたいと考えています。

船舶海難においては、異常気象等の不可抗力に伴う海難が発生したことにより、昨年よりも増加傾向となりました。改めて、基本事項を着実に守ることの重要性を啓発し、海難の防止及び被害の最小化の観点を重点として地道に呼びかけていきたいと思えます。

また、人身海難においては、病気による海難が減少したものの、自己過失による海中転落が増加したことから、総数は前年に比べ増加傾向となりました。

*3 衝突・乗揚、転覆等の船舶海難以外の事由により発生した船舶の乗船者の海中転落、負傷、病気等が該当します。

*4 海浜事故は「マリンレジャーに伴う海浜事故」と「マリンレジャー以外の海浜事故」があります。

「マリンレジャーに伴う海浜事故」とは、遊泳中や釣り中などマリンレジャー中の事故、「マリンレジャー以外の海浜事故」とは、岸壁等からの海中転落や自殺等が該当します。

以上を踏まえ、釧路海上保安部では引き続き次の指導事項を基に、関係機関や団体と連携し、釧路管内の港を入出港する船舶及び港の利用者に対し、各種海難防止活動を実施し、事故の減少に努めていくこととします。

指摘事項

- (1) 船舶海難防止に関する事項
 - ①常時見張りの徹底（衝突・乗揚防止のため）
 - ②発航前点検の励行（運航不能防止のため）
 - ③気象・海象情報の把握と適切な判断（転覆・浸水防止のため）
- (2) 人身海難防止に関する事項
 - ①船内作業中における意思疎通の徹底
 - ②ライフジャケットの常時着用、連絡手段の確保
 - ③複数人行動の励行
 - ④気象・海象情報の常時把握

(添付資料)

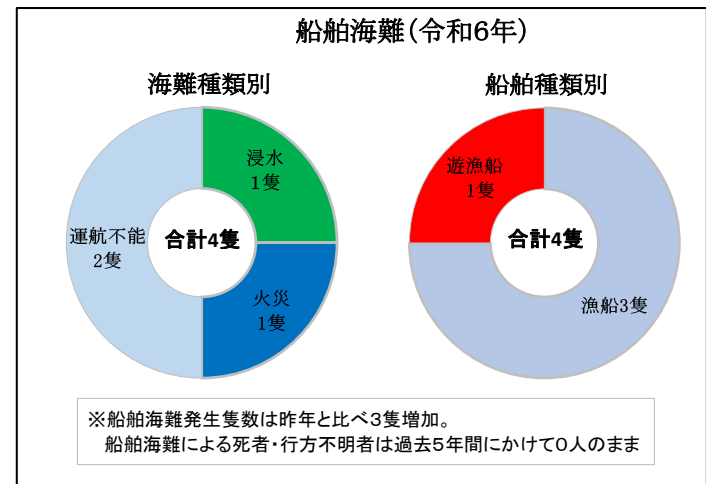
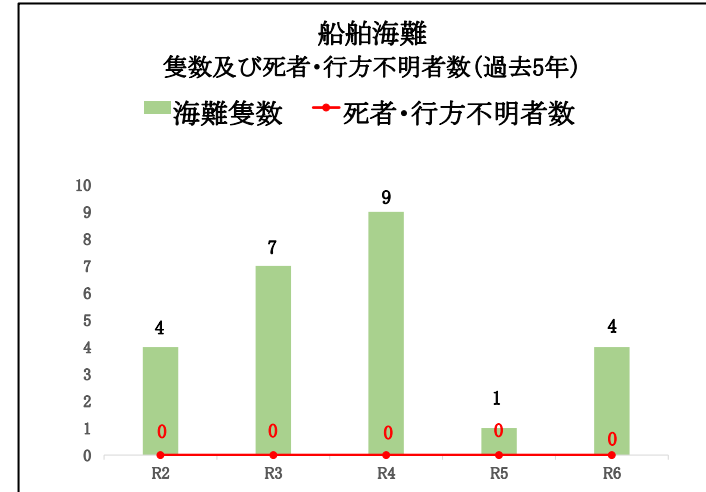
- 別紙1 「過去5年船舶海難発生状況」
- 別紙2 「令和6年船舶海難発生状況（詳細）」
- 別紙3 「過去5年人身海難発生状況」

過去5年船舶海難発生状況

釧路海上保安部

区分	船舶海難(隻)										死者・行方不明者(人)
	衝突	単独衝突	乗揚	転覆	浸水	火災	爆発	運航不能	その他	合計	
令和2年	0	0	2	0	0	0	0	2	0	4	0
令和3年	0	2	1	0	1	0	0	3	0	7	0
令和4年	2	1	0	1	0	1	0	4	0	9	0
令和5年	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
令和6年	0	0	0	0	1	1	0	2	0	4	0

※ 令和6年分は「速報値」であり、今後、増減することがあります。



令和6年船舶海難発生状況(詳細)

釧路海上保安部

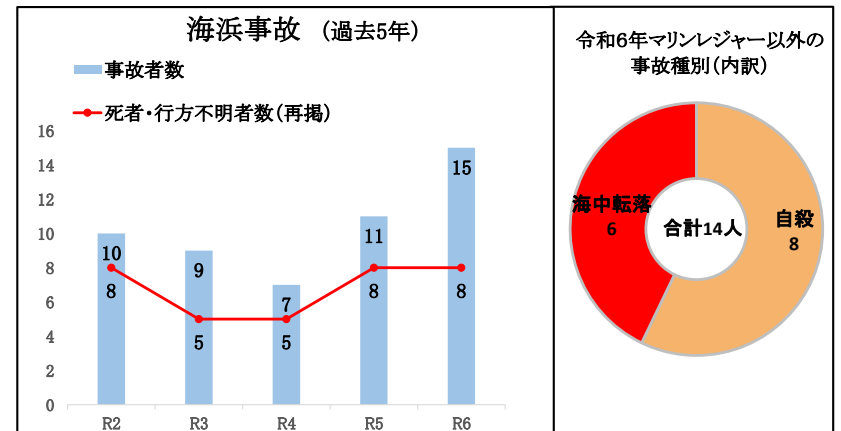
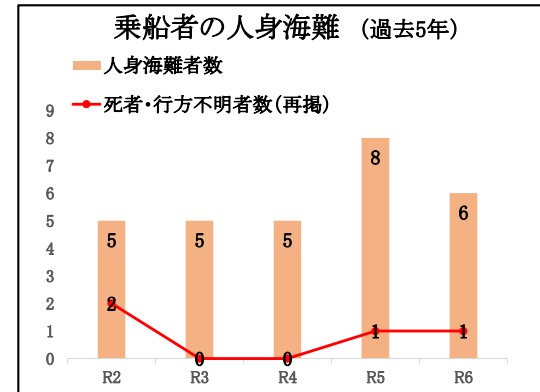
船舶海難(隻)											
船舶種類	海難種類 衝突	単独衝突	乗揚	転覆	浸水	火災	爆発	運航不能	その他	合計	死者・行方不明者 (人)
貨物船	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
タンカー	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
旅客船	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
作業船	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
漁船	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)
遊漁船	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
プレジャーボート	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (1)	0 (0)
死者・行方不明者数(人)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	

注1:上段の数字は令和6年の速報値。下段()内は令和5年の確定値です。
 注2:船舶種類の「その他」は、練習船、監視取締船、軍艦等です。
 注3:船舶種類のプレジャーボートは、レクリエーションに用いられるモーターボート、ヨット等です。
 注4:海難種類の「運航不能」は、機関故障、推進器障害、舵障害、燃料欠乏、無人漂流等です。
 注5:海難種類の「その他」は、船体行方不明、船位喪失等です。
 注6:死者・行方不明者は、船舶海難に伴う乗船者の死者又は行方不明者です。
 注7:海難隻数は速報値であり、今後、増減することがあります。

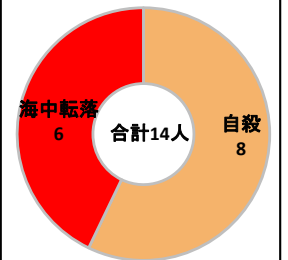
過去5年人身海難発生状況

釧路海上保安部

区分	乗船者の人身海難（人）					海浜事故（人）		
	海中転落	負傷	病気	中毒	合計	マリネレジャー	マリネレジャー以外	合計
令和2年	1 (1)	2 (0)	2 (1)	0 (0)	5 (2)	1 (0)	9 (8)	10 (8)
令和3年	0 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)	5 (0)	1 (1)	8 (4)	9 (5)
令和4年	1 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (0)	0 (0)	7 (5)	7 (5)
令和5年	1 (0)	3 (0)	4 (1)	0 (0)	8 (1)	1 (1)	10 (7)	11 (8)
令和6年	2 (1)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (1)	1 (0)	14 (8)	15 (8)



令和6年マリネレジャー以外の事故種別(内訳)



※（ ）内は、死者又は行方不明者数
 ※ 令和6年分は確定されるまでは「速報値」であり、今後、増減することがあります。